

終戦から70年 伝える

今年、終戦から70年を迎えます。戦争の記憶が薄れようとしている現在、市では、戦争の悲惨さ、核兵器の恐ろしさ、平和の大切さを伝えるため、「非核・平和パネル展」と「夏休み平和映画会」を開催します。この機会に、平和について考えてみませんか。

非核・平和パネル展

西東京市の空襲の被害、戦時下の暮らしの様子、今も残る戦争の遺跡をパネルなどで紹介します。

□展示内容

- 西東京市戦災パネル
- ヒロシマ・ナガサキ被爆の実相等に関するポスター
- 市内に多数落とされた1t爆弾模型
- 柳沢に落とされた模擬原子爆弾の資料

- 原爆関連のビデオの上映
時 8月3日(月)～7日(金)午前10時～午後5時 ※3日(月)は正午から
- 場 アスタビル2階センターコート



1t爆弾模型

- 共催 非核・平和をすすめる西東京市民の会
- ◆協働コミュニティ課 ☎042-438-4046

夏休み平和映画会

映画「この子を残して」

長崎に原爆が投下され、妻を亡くした放射線医学博士の永井隆は自らも被爆しつつ、ふたりの子どもを育てながら、やがて戦争と原爆の記録を記していく。『長崎の鐘』などで知られる永井隆の同名手記を原作に描くヒューマンホームドラマ。
出演：加藤剛、十朱幸代
監督：木下恵介



©1983 松竹/ホリプロ

※映画上映前に、「広島平和の旅」の参加者による報告会を実施します。
時 8月22日(土) 午後1時開場
報告会：午後1時30分
上映会：午後2時
場 西東京市民会館
※当日、直接会場へ

常設展示

- ①西東京市戦災パネル・1t爆弾模型の展示
(8月31日まで休館日を除く毎日。以後不定期)
場 西東京市民会館
- ②戦争の遺品の展示
場 田無庁舎2階展示コーナー

今後の予定

ピースウォーク

- 時 10月24日(土)
- 内 原爆の図丸木美術館(埼玉県東松山市)の見学[※]
- ※詳細は今後市報でお知らせする予定です。

東大生態調和農学機構

ひまわりに囲まれて夏を体感!

～ひまわり畑の迷路を公開します～

市と東大生態調和農学機構が共同で取り組む「ひまわりプロジェクト DE OIL 2015」の一環として、同機構のひまわり畑を一般公開します。約1,000㎡のひまわり畑が迷路になっています。ぜひ挑戦してみてください!

□期間 8月12日(水)～28日(金)(土・日・月曜日を除く)

※雨天などの場合は中止

□時間 午前9時30分～午後4時

場 東大生態調和農学機構(正門を入り右側)

- ※車でのご来場はご遠慮ください。
- ※十分な熱中症対策をしてお越しください。
- 場 市民協働推進センター(☎042-497-6950)
- ◆協働コミュニティ課 ☎042-438-4046



ひまわり迷路

りさいくる市

時 8月2日(日)
午前9時ごろ～正午
場 エコプラザ西東京

- ※環境保護のため徒歩・自転車での来場にご協力ください。
- ※当日、地元産野菜の販売、茶わんのリサイクル、猫の里親探し・譲渡会があります。
- ◆ごみ減量推進課 ☎042-438-4043

資源物の持込回収

会場で、次の資源物を無料で回収します。受付までご持参ください。

プラスチック製品	バケツ・ポリタンク・プランター・カゴ・ごみ箱 [※]
陶磁器食器 ※ごみ資源化市民会議主催	茶わん・皿・小鉢・湯飲み(ガラス・花瓶・土鍋・自作品は回収できません。)

「りさいくる市」フリーマーケット出店者募集

- 時 9月6日(日)午前9時ごろ～正午
- 場 田無庁舎市民広場 ※雨天中止
- 出店資格 成人で市内在住の個人・団体(業としている方を除く)
- 募集区画数 65区画(1区画約3.5㎡)
- 申 8月10日(月)(消印有効)までに、往復はがきに参加者全員の氏名(ふりがな)、代表者の住所・年齢・電話番号、出店物(衣類・雑貨[※])を明記し、〒202

- 0011泉町3-12-35ごみ減量推進課へ(応募は1世帯1通。当日の参加者による申し込みに限る。申込多数の場合は抽選)
- ※飲食物・動植物などの販売は不可
- ※出店場所の選択は不可
- ◆ごみ減量推進課(☎042-438-4043)

多摩六都科学館ナビ

ボン・デ・ナイト・プラネタリウム 「BACK TO THE MOON FOR GOOD」

昔、人類が月面に立ったことをご存じですか。あれから40年経った今、人類は再び月を目指します。星空の生解説とともに楽しみください。
時 8月9日(日)～16日(日)
午後5時45分(約50分)
定 各日234人(先着順)

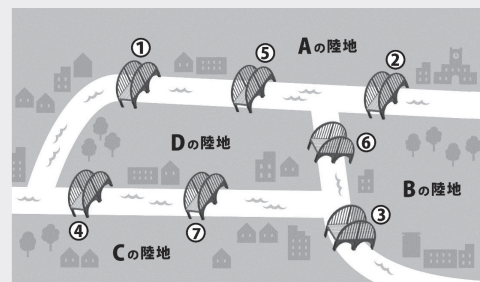
- 観覧券 ¥ 観覧券入館券
大人1,000円、4歳～高校生400円
- 場 多摩六都科学館(☎042-469-6100)
- ※8月31日(月)までの入館は午後4時30分まで

ロクト・サイエンス・コラム⑮

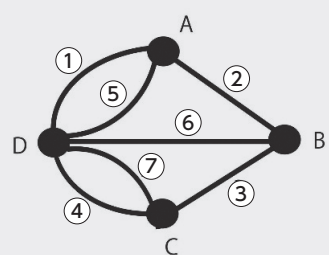
観光地の数学的歩き方

ときは18世紀、ケーニヒスベルクという街で「町中の橋を1回ずつ通ることができるかどうか」という議論が盛り上がりました(図1参照)。これに答えたのは数学者のオイラー。地図を図形に置き換え、数学の「一筆書きの問題」として考えました。彼は、一筆書きが可能となる条件が「奇数個の辺と接続する頂点の数が、0または2」と証明し、この問題は条件を満たさないため一筆書きは不可能と示しました(図2参照)。現代に当てはめると、新しい街を散策する時に全ての通りを歩く最短

経路を考えることに相当します。「全ての通りを歩くのは大変だから、観光名所だけを巡る最短経路が知りたい!」という方、これも図形に置き換えて考えられるのでぜひ挑戦してください。でもこれにはオイラー先生も苦戦するかも…「全ての観光名所を巡る最短経路を効率よく探す問題」は、実は100万ドルの懸賞金付きの未解決問題なのです。この夏、観光地を訪れたら、複数の名所を一筆書きで巡ることができると、皆さんも試してみたいのではないでしょうか。



(図1)ケーニヒスベルクの街



(図2)オイラーの証明